

ます。その後の、6月成田市  
議会定例会の一般質問に対す  
る答弁では、

合併は市民の意向が第一  
であり平成十七年三月の  
合併特例法期限にこだわ  
るものではなく、慎重に議  
論していく。

国際空港都市としての特  
例市を目指すこともひと  
つの選択肢。

――自治体の枠組みでの  
市民の合併気運の醸成は  
不十分であった。

との見解を示しています。

しかし、栄町といたしまし  
ては、早期に協議を行う必要  
があると判断し、次の要望書  
を提出いたしました。要望書  
を提出した主旨は、合併の是  
非を判断する上で「成田市を  
中心とする地域における合併  
した場合のメリットやデメリ  
ット、将来的なまちづくりや  
行政サービスのビジョン」を  
町民の皆さんに示していく必  
要があるからです。これから  
も、町として可能な限りの活  
動を実行し、できるだけ的確  
な情報を提供することに心が

けてまいります。

そのため、「ドラムの手帳」  
や町のホームページ、「市町村  
合併特集号」などを通じ、国  
や県内の動向、協議の経過な  
どをお知らせしてまいります。

## 要 望 書

時下、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年12月16日に「成田地域任意合併検討協議会」を設置し、おおむね4ヶ月間にわたる協議を重ねてまいりましたが、残念ながら「合併協議会」の設置には至らず成田地域任意合併検討協議会も解散いたしました。

そのような中、国においては新たな指針を策定し、一層の市町村合併を推進することとしていることに加え、栄町議会におきましては「今後のまちづくりの手法として市町村合併を有効な手段と位置づけ調査・検討を継続する決議」が採択されているところでございます。また、現時点における地域住民の最大の関心は市町村合併協議の今後の推移にあります。

そこで、本町が成田市を中心とする地域（以下「成田地域」）との市町村合併に関する協議を望む理由といたしましては、

本町の行政区域の多くが成田市に接しており、行政施設やサービスの利用環境・日常生活圏を捉えた場合に、双方の利便性向上につながるものと推測されること

今後の行政経営を見据えた場合、地方自治体における権能を強化し、より充実した高度な行政サービスの提供を行い、自立した自治体を確立するためには「中核市・特例市」を目指していくことが望ましいこと

成田新高速鉄道事業や北千葉道路整備事業によって、本町と成田地域・成田空港がより身近な存在となり、本町が空港関連施設の受け皿としての機能が高まること

成田市・富里市・栄町の3市町による成田都市計画区域として、共通の認識のもと一体的なまちづくりに取り組んできていること

住民意向調査の結果、成田地域を希望する意見が多くを占めていること  
などであります。

市町村合併に関する協議の継続は避けて通れない最重要課題であり、市町村の合併の特例に関する法律の失効期限も迫っているなか、成田地域における合併した場合のメリットやデメリット、将来的なまちづくりや行政サービスのビジョン、合併した場合しなかった場合の町の姿を住民に提示することが、行政としての責任であることから、早急に協議をしてくださるよう要望いたします。

平成15年7月10日

成田市長 小林 攻 様

栄町長 大野 眞

情報お待ち  
しています



**DORIMU**

### 編集後記

統一地方選挙も終わり、様々な地域で市町村合併に関する議論が、改めてスタートしたような状況です。栄町においても合併に関する協議・検討が全て白紙ということではなく、町民の皆さんに適切な情報をお知らせするための活動を、継続して実施してまいります。また、合併しなかった場合の町の姿もお示しすることが大切です。

スタッフ一同、皆様に必要な情報を適時お示しできるよう努力してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先

企画政策室 政策管理グループ

電話 95-1111(内線325)

Eメール [kikaku@town.sakae.chiba.jp](mailto:kikaku@town.sakae.chiba.jp)

\* ご意見・ご質問などお寄せ下さい。